

## 健全化への取り組みは続きます

市は今年の4月、財政健全化計画を策定しました。平成18年度～21年度までの4年間の計画で、市の財政を健全なものにしようというものです。

### ★市の借金は281億円

市債（市の借金）の残高は、平成18年度末で281億5,890万円です。16年度から、年度ごとに返す額よりも借りの額を少なくしており、市債残高は減少しています。

### ★基金は減少してきています

主な基金（市の貯金のこと）には、財政調整基金と市債管理基金があります。これらの基金は、緊急に大きな事業を行わなければならない場合や大規模な災害に対応することなどのために積み立てられています。18年度の災害復旧や企業誘致などへ対応するために多額の基金を使ったので、基金は減少しています。18年度末の基金残高は、6億2,788万円でした。

### ★歳入を増やすためにすること

市税を適正に確保するために、滞納の根絶や収納率の向上に努めます。また、使用料や手数料の見直し、使われていない市有地の売却・貸付を行います。

### ★歳出を減らすためにすること

市が行っている事務事業の優先度や緊急度を比較して、廃止を含めて見直します。職員数は、平成22年度までに422人から385人以下に減らす計画です。また、市債は、借りのお金が返すお金より多くならないようにしています。

「特集 決算」終わり



## 進み具合をお知らせします

平成19年度予算の上半期（4月～9月）の進み具合をお知らせします。一般会計では、歳入の執行率が43.3%、歳出の執行率は36.4%となっています。

一般会計				
歳入	予算額	収入額	執行率	
市税	39億6,941万円	23億7,949万円	59.9%	
地方交付税	70億5,637万円	46億9,272万円	66.5%	
国庫支出金	25億374万円	3億1,031万円	12.4%	
県支出金	14億2,933万円	2億1,290万円	14.9%	
市の債	34億5,701万円	1,400万円	0.4%	
その他	24億5,032万円	9億9,839万円	40.7%	
合計	208億6,618万円	86億781万円	41.3%	

歳出	予算額	支出額	執行率	
総務費	22億3,994万円	8億6,473万円	38.6%	
民生費	46億1,309万円	17億4,853万円	37.9%	
農林水産業費	12億5,458万円	2億6,765万円	21.3%	
土木費	17億8,064万円	2億6,861万円	15.1%	
教育費	23億8,783万円	8億8,863万円	37.2%	
公債費	39億9,982万円	12億3,769万円	30.9%	
その他	45億9,028万円	21億9,390万円	47.8%	
合計	208億6,618万円	74億6,975万円	35.8%	

特別会計			
会計名	予算額	支出額	執行率
土地取得事業	2,610万円	1,240万円	47.5%
国民健康保険事業勘定	44億9,144万円	17億7,413万円	39.5%
国民健康保険直営診療施設勘定	2億5,987万円	1億762万円	41.4%
老人保健	28億5,575万円	11億8,743万円	41.6%
介護サービス事業	8,540万円	3,664万円	42.9%
魚市場事業	2,668万円	1,471万円	55.1%
漁業集落排水事業	3億984万円	4,630万円	14.9%
工業団地造成事業	4,242万円	4,240万円	100%
公共下水道事業	14億8,004万円	4億6,669万円	31.5%
合計	95億7,755万円	36億8,832万円	38.5%

企業会計			
水道事業	予算額	支出額	執行率
収益的支出	8億651万円	1億8,172万円	22.5%
資本的支出	5億1,123万円	1億2,256万円	24%

# 特別会計

特別会計とは、特定の事業を行うために一般会計と分けて事業を行うために用いる会計です。特定の歳入を特定の歳出に充てるため、会計がわかりやすくなります。合併前、2市村で17年度に14事業あった特別会計は、18年度で11事業に統合しました。特別会計をすべて合わせた歳入は96億647万円、歳出は95億1,426万円でした。

**土地取得事業**  
歳入 2億1,871万円  
歳出 2億1,871万円

公共用地の取得を目的としています。



**国民健康保険事業勘定**  
歳入 42億4,600万円  
歳出 40億7,334万円

自営業者などが加入する国民健康保険を運営しています。



**国民健康保険直営診療施設勘定**  
歳入 2億5,976万円  
歳出 2億5,976万円

山形診療所を直接運営しています。



**老人保健**  
歳入 28億4,785万円  
歳出 28億8,887万円

老後の健康の保持と適切な医療を確保するため、資格者へ医療費を給付します。



**介護サービス事業**  
歳入 8,439万円  
歳出 8,142万円

居宅介護、訪問介護サービスなどを行います。



**魚市場事業**  
歳入 1億3,016万円  
歳出 1億3,016万円

魚市場の運営管理を行います。



**漁業集落排水事業**  
歳入 2億4,121万円  
歳出 2億4,121万円

漁業集落の環境整備や下水道整備を行います。



**国民宿舎事業**  
歳入 4,065万円  
歳出 4,065万円

宿泊や食事など、国民宿舎の事業を行いました。（平成18年度末廃止）



**工業団地造成事業**  
歳入 3,194万円  
歳出 7,434万円

久慈地区拠点工業団地の造成を目的としています。



**公共下水道事業**  
歳入 14億8,455万円  
歳出 14億8,455万円

下水道や汚水処理施設の整備、維持管理を行います。



**平庭高原施設事業**  
歳入 2,125万円  
歳出 2,125万円

平庭高原施設の運営を行いました。（平成18年度より指定管理制度へ移行）



### 特別会計をすべて合わせた

歳入 **96億647万円**

歳出 **95億1,426万円**

# 公営企業会計

公営企業会計とは、市が経営する企業に関する会計です。市では、水道事業を公営企業会計で行っています。公営企業会計の収入は7億7,977万円、支出は11億5,471万円でした。

#### 【収益的収支】

収入 7億301万円

支出 7億2,230万円

#### 【資本的収支】

収入 7,676万円

支出 4億3,241万円